

この特集のお問い合わせは
クリーン推進課
☎483-1151(代表)へ



ゴミゼロ運動で街をきれいに



▲去年は、1万576人が参加

6月3日(日)は、ゴミゼロ運動の日です。ゴミゼロ運動は、国の「ごみ減量・リサイクル推進週間」に係る事業の一環として5月30日(水)～6月5日(火)に県では取り組みを推進しています。

本市では、10年7月に「ポイ捨て防止に関する条例」を施行し、新川周辺を環境美化

重点区域に定め、一斉清掃を行っています。自治会が主催するゴミゼロ運動も各地域で行われます。詳しくは、自治会などへ。

▶日時 6月3日(日) 午前9時～10時(小雨決行)
※各地域での活動については自治会などに直接確認してください。
▶会場 ①新川両岸遊歩道/市民体育館隣多目的広場 ②各地域…各自治会などが指定した場所
▶注意事項 駐車場がありませんので、公共交通機関等を利用ください。新川会場ではボランティア袋を用意していますが、袋が大きいので、各自で不要となったスーパーの袋や軍手、火ばさみなどを用意してください。

間違えやすいごみの分別

クイズでチェックしてみましょう

- Q1. 化粧品びんは全て不燃ごみで出している
- Q2. 不燃ごみは20ℓの指定袋に収まれば良い
- Q3. 集積場所のカラスは駆除できる
- Q4. 不燃ごみと有害ごみを同じ袋に入れている
- Q5. スプレー缶は穴を開けてガスを抜いてから出さなければならない
- Q6. 割れたガラスや陶器、包丁はそのまま不燃ごみの袋に入れる
- Q7. 電池が内臓されたおもちゃや機器はそのまま不燃ごみ袋で出す



インクカートリッジを市でも回収しています

4月1日より、市役所2階クリーン推進課窓口、清掃センターで、使用済みインクカートリッジの回収を始めました。新しいものに再生したり、業務用パレットなどにリサイクルしたりします。受付の回収ボックスに入れてください。



◀この箱に入れてください

クイズの答え・・・

全部分かりましたか

Q1 化粧品びんは中身をすすいでから資源物へ

化粧品びんは、キャップを外し、中身を出しきり水ですすいでから資源物へ。中栓やポンプは外し、びん類のコンテナへ。マニキュアやリップグロスのびんなど中身が出しきれないものは不燃ごみで出してください。



Q2 不燃ごみは、袋の取っ手を結んで出してください



可燃または、不燃ごみの20ℓの指定ごみ袋(約40cm×30cm)に入らない場合は、粗大ごみへ。袋の取っ手の中央の結び部分が結ばれていて、中身が飛び出していないければ、可燃ごみや不燃ごみとして出せます。袋の取

っ手の中央部分が結べていなかったり、ガムテープなどで無理矢理袋に入れていたりするのは粗大ごみになります。

Q3 カラスは駆除できません

鳥獣保護法で、県の許可なく駆除することはできません。カラスは一度食べ物がある場所を覚えると、頻繁に飛来します。集積場所ではネットなどで被害を防ぎましょう。



Q4 不燃ごみと有害ごみは同じ袋に入れて出せません

不燃ごみと有害ごみは同時に収集しています。1つの指定袋に、不燃ごみと有害ごみを入れて出してください。清掃センターに搬入した後は、手作業で分別しています。乾電池は透明のビニール袋に入れて出すことができます。充電式・ボタン電池は出せません。



Q5 スプレー缶は穴を開けずに出せません

使い切るか、必ず換気の良い場所で中身を出しきってから資源物で出してください。缶・金属類のコンテナに入れてください。



Q6 割れた容器やガラス、包丁などは新聞紙に包んで不燃ごみへ



収集の作業員が怪我をする恐れがあるので、新聞紙などに包んで「ワレモノ、キケン」など包み紙に書いて、不燃ごみで出してください。

Q7 おもちゃや機器は、電池を取り出してから不燃ごみへ

モーターや基板が組み込まれていますので、乾電池を抜いてから、不燃ごみで出してください。



広告

広告